

## 令和5年度 第3回 上下水道事業運営審議会

### 1 開催日時

令和6年2月15日(木) 15時00分～16時45分

### 2 開催場所

柏市上下水道局庁舎 4階 401・402会議室  
柏市千代田1丁目2番32号

### 3 出席者

#### (1) 委員

落合委員, 堀田委員, 谷委員, 石井委員, 小暮委員, 齊藤委員, 廣瀬委員,  
秋田委員, 石田委員, 白石委員, 新田委員

#### (2) 事務局

成嶋上下水道事業管理者, 内田理事, 須藤総務課長, 野口経営企画課長,  
小池料金課長, 新井水道工務課長, 松崎下水道工務課長, 深山施設管理課  
長, 横枕給排水課副参事 他

### 4 議題

- (1) 柏市水道事業ビジョン及び柏市下水道事業中長期経営計画の改定スケジュールについて

### 5 報告事項

- (1) 能登半島地震での応急給水活動について
- (2) 水道料金減免事業について

### 6 議事

議題 (1) 柏市水道事業ビジョン及び柏市下水道事業中長期経営計画の改定  
スケジュールについて

質疑 (秋田委員), 回答 (事務局)

Q. ウォーターPPP について, 先行して行っている自治体もあるとのことだが,  
どのようなメリットがあるのか。

A. 直営で行う場合と, ウォーターPPP を導入した場合で, どちらの方が安く  
済むのかを事前に評価をすることになっているので, 基本的にはお金が浮く

というメリットがある前提で話が進められると理解している。

#### 質疑（谷委員），回答（事務局）

Q. 社会資本総合交付金はレベル4にならないと貰えないのか。また、柏市の方向性として、将来的にはレベル4を目指していくのか。

A. 過去にはレベル4を目標とする国の動きがあったが、運営権を民間に持たせることに対して市民等から反対意見が多く出た。そのため、レベル4と同じように業務は民間に持たせるが、運営権は自治体が持つ、というレベル3.5が今回作られた。柏市は現在レベル3.5をほぼ満たしているが、柏市としてどちらが有効なのかを来年度から検討していき、今まで通りのレベル3.5でいくのか、レベル4にしていくのか決定していく。

#### 質疑（齊藤委員），回答（事務局）

Q. 令和4年度の審議会の中で、PDCAサイクルで執行管理をしていくとの話があった。改善として、アセットマネジメントとウォーターPPPが出てきたのだと思ったのだが、そうではなく国の指導で行われているものなのか。

また、アセットマネジメントとして配水管の話があったが、配水管以外にも水道施設があれば教えてほしい。

A. まずはウォーターPPPについて、財務省としては、汚水管の老朽化対策には交付金を出したくないという方針が強く、下水道使用料を上げることで対応してほしいとの狙いがあると聞いている。しかし、いきなりそうしてしまうと、どこの自治体も立ち行かなくなってしまうので、国土交通省主導でウォーターPPPというものが昨年6月に示され、同制度を導入した自治体については、汚水管の改築に限るが当面の間は交付金を出す、という内容である。

アセットマネジメントについては、配水管以外にも水を溜めておく構築物である配水池や、水を圧送する電気系統のポンプ施設などがある。これらについても、長寿命化を図りながら、どのタイミングで更新するのが一番費用が安く済むのかという視点で行うのがアセットマネジメントだが、前提としていた工事単価が上がってきているため、行う内容自体はあまり変わらないかもしれないが、更新のタイミングなどの優先順位の見直しが必要となってくる。

#### 質疑（堀田委員），回答（事務局）

Q. ウォーターPPPについて、下水道のみで行うのか、上下水道一体で行う可能性もあるのか。それによっては、アセットマネジメントなどにも影響が出ると思うので、現段階での方針を教えてほしい。

A. 上下水道一体で行うことも含めて検討し、その中で一番有効な方法を採用

する予定である。

#### 質疑（廣瀬委員）、回答（事務局）

Q. 計画の一本化を検討しているという説明があったが、これは国からの通知等によるものなのか。

A. 国からの通知ではなく、柏市の水道と下水道が組織統合したため、それに合わせて計画の一本化を検討するものである。水道と下水道は組織統合されていない自治体も多くあり、財政収支計画も別であるが、人事や組織、防災対策など共通している部分もあるので、共通している部分と分ける部分を精査しながら一本化を検討していく。

#### **報告事項（1）能登半島地震での応急給水活動について**

#### 質疑（白石委員）、回答（事務局）

Q. 水道管の耐震化率について、能登は高いと聞いたのだが、全国平均と柏市の数値を教えてほしい。

A. 耐震化率は、令和4年度末時点で柏市は33.8%、輪島市は30%である。全国平均でいうと、最近国が出している基幹管路耐震適合率という耐震管の他にも埋められた地盤によっては十分な耐震性を有する管を含めた基幹管路における割合が多く用いられており、これは、柏市は77%、輪島市は52.5%、全国平均は41.2%であるため、耐震化においては、柏市は進んでいると認識している。

また、配水池にも耐震化率があり、柏市の場合は令和4年度末時点で88.2%、令和3年度末になるが千葉県全体で54.8%、全国平均だと62.3%なので、配水池においても柏市は進んでいると考えている。

Q. 応急給水所の場所を知っておくことは大事である。大きい地震がいつ起きてもおかしくないが、応急給水所マップの広報はしているのか。

A. ホームページに給水所の一覧を掲載している。また、コロナ禍も終わったので地域の防災訓練等で給水所マップを配布するなどし、今後も周知に努めていく。

Q. 柏市公式LINEに登録しているが、そこにマップを載せれば何かあったときにすぐに見れるので良いのではと思う。

A. どの媒体をよく見ているか、見やすいかは、市民の方によっても違うので、色々な方法で為になる情報を発信していきたい。

## 報告事項 (2) 水道料金減免事業について

### 質疑（秋田委員）、回答（事務局）

Q. 基本料金の免除はもう3回やっていると思うが、1年続けたら約30億円になる計算である。市民としては有難いが、市の財政としてはキツイのか、それとも余裕があるのか、現時点でどのように考えているのか教えてほしい。

A. 3回とも国の財源を使って減免しているので、市の財政での赤字はない。

## 7 傍聴

傍聴者なし